

1.本園の教育目標

- ・思いやりの心を育む
- ・仲良く笑顔で遊びを通してお友だちづくり
- ・心身ともに健康な身体を作る

2.本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・食育に力を入れる
- ・あいさつをしっかり行なっていく
- ・正課活動に体操を取り入れ、身体能力の向上や協調性を身につける

3.評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育課程を見直し改善を図る	B	正課に体操を増やし教育課程が充実した。 コロナ禍前に実施していたみそ作りを復活した。
2	基本的な生活習慣が定着するよう努力する	B	登降園時や食事の際のご挨拶や日々のお支度の際、声掛けだけでなく絵を用いてわかりやすく示すなど生活習慣が定着するよう工夫した。
3	保護者との関わり	B	登降園の際、保護者に一日の様子を伝えるなど対話する機会を設け、話しやすい環境を整えている。また、意見があった際は園全体で解決策を考え対応した。その成果もあり、行事の際は快くお手伝いをしていただけた。
4	安全管理	C	警察の方と連携し、不審者侵入の防犯訓練を実施したり、引き渡し訓練や避難訓練を実施したりと、非常時に落ち着いて行動できるよう日頃から訓練を行っている。 通用門の改修工事を行い、登降園時以外は正門は施錠し通用門を使用するように変更し、不審者侵入への対策を行なった。現在インターフォンにカメラがなく来園者の顔を確認することができないため、今後カメラを設置するなどの対策を行いたい。
5	食育に関して	B	野菜を栽培・収穫し、その後収穫した野菜を食べたり、味噌を作って出来上がった味噌を使った味噌汁を飲んだり、食に興味・関心を持てるような機会を作った。また芋掘り遠足で収穫した芋を使って焼き芋パーティーを園庭で行った。
6	体操を正課活動に加えたことに関して	B	体を動かすことをより楽しむようになっただけでなく、整列や順番を守るなど、規律ある行動を取れるようになった。
7	表現活動に関して	B	劇団や声優を招くなど、プロの表現・技術に接する機会を設けた。また劇あそびでは舞台俳優さんに指導を仰ぎ、演出や表現に磨きをかけることができた。

評価（A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果なかった）

4.総合的な結果評価

評価	理由
B	今年度の目標に掲げた3つの項目は実行できた。 食育や体操、表現活動に関してさまざまな取り組みを行い、子どもたちの成長につなげることができた。 対話を重視することで、保護者との信頼関係を築くことができた。

評価（A:十分に成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果なかった）

5.今後取り組む課題

- ・園の魅力や情報を広く発信していく
- ・教育課程のさらなる見直し改善を図る
- ・安全対策でまだ対応できることがあるので、子供達が安全に楽しく過ごすことができる環境を整える